

計画の構成（案）

《はじめに》

《計画の策定にあたって》

- 1 計画の策定趣旨
- 2 計画の性格・役割
- 3 計画の期間

第1章 「教育県大分」の創造に向けて

- 1 教育改革の経緯
- 2 計画の基本理念
- 3 計画の最重点目標

第2章 施策

- 基本目標 1 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進
- 基本目標 2 グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成
- 基本目標 3 安全・安心な教育環境の確保
- 基本目標 4 信頼される学校づくりの推進
- 基本目標 5 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援
- 基本目標 6 文化財・伝統文化の保存・活用・継承
- 基本目標 7 県民スポーツの推進
- 基本目標 8 世界に羽ばたく選手の育成

第3章 計画のフォローアップ等

【計画の策定にあたって】

1 計画の策定趣旨

- 「新大分県総合教育計画」の目標年度到達
- 新たな「大分県長期総合計画」の策定、「教育大綱」の策定
- 社会情勢や教育を取り巻く状況の変化への対応

2 計画の性格・役割

- 「大分県長期総合計画」の教育部門の実施計画として、本県教育の進むべき方向や、それを具体化するための施策を示すことにより、本県教育を向上させる指針となる。
- 「大分県長期総合計画」の教育部門の内容と併せて、教育基本法に規定される各地方公共団体が策定する「教育振興基本計画」として位置付けられる。

3 計画の期間

- 開始年度を平成28年度、目標年度を平成36年度とする。
(目標年度を新たな「大分県長期総合計画」に合わせる。)

第1章 「教育県大分」の創造に向けて

1 教育改革の経緯

- ・教育改革の背景（平成20年の事件）
- ・教育行政システムの改革
- ・「芯の通った学校組織」の取組

2 計画の基本理念

- ・変化の激しい時代の到来
（人口減少とグローバル化、価値観の多様化とライフスタイルの変化等）
- ・高大接続改革、2020年東京五輪

生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

⇒未来を切り拓く力と意欲を身に付けさせる教育

（含：新たな教育課題、ベースとなる人権教育、文化・スポーツ）

⇒県民総ぐるみの教育

（含：新教育委員会制度、学校・家庭・地域の協働、広報等）

3 計画の最重点目標

⇒学力（①知識技能、②活用力）、③体力、④意欲、⑤グローバル社会を生きる上で求められる総合力に対応する5つの指標を設定し、「全国に誇れる教育水準の達成」を目指す。

全国に誇れる教育水準の達成

⇒目標達成に向けて、8つの基本目標、21の施策を推進。

第2章 施策

基本目標1 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健康・体力づくりの推進
- (4) 幼児教育の充実
- (5) 進学力・就職力の向上
- (6) 特別支援教育の充実
- (7) 時代の変化を見据えた教育の展開

基本目標2 グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成

基本目標3 安全・安心な教育環境の確保

- (1) いじめ対策の強化・充実
- (2) 不登校対策の強化・充実
- (3) 安全・安心な学校づくりの推進

基本目標4 信頼される学校づくりの推進

- (1) 「芯の通った学校組織」の取組の深化
- (2) 魅力ある高等学校づくりの推進
- (3) 教職員の意識改革と資質能力の向上

基本目標5 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援

- (1) 多様な学習活動への支援
- (2) 社会全体の「協育」力の向上
- (3) コミュニティの協働による家庭教育支援の推進

基本目標6 文化財・伝統文化の保存・活用・継承

基本目標7 県民スポーツの推進

- (1) 生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成
- (2) 県民スポーツを支える環境づくりの推進

基本目標8 世界に羽ばたく選手の育成